



## Newsletter 2024 No.2

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第67号 発行 2024年12月10日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之

〒181-8612 三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部内

Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)

email: jimujsthe.org ◇学会 URL : <https://jsthe.org>

◇編集・発行人：大島知典

(tom.oshima1017@gmail.com)

### 【2024年度全国大会のご案内】

今年度の全国大会は、2025年3月8日(土)・9日(日)の2日間にわたって、「大阪・関西万博を契機とした新たな観光ホスピタリティ教育のデザイン」をテーマに、立命館大学 大阪いばらきキャンパス(茨木市)にて開催します。基調講演には、中島さち子氏(大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー、株式会社steAm 代表取締役)をお迎えし、観光関連の最新のトレンドや人材育成についてお話しいただきます。また、パネルディスカッションでは、2025年4月から開催されます大阪・関西万博を契機とした新しい観光ホスピタリティ教育の展開可能性とその課題について、参加者の皆様と考えていきたいと思います。大学・高校・実業界を問わず、広く観光ホスピタリティ教育に関心を持つ参加者の皆様のご参考になるものと存じます。また、「研究報告・教育実践報告」では学会の国際化を視野に入れた取り組みを今年度も行い、「ワークショップ」(2日目)では観光ホスピタリティ教育をめぐる多様なテーマを用意しております。

今後随時内容の詳細をお伝えして参りますので、まずは日程をご予定いただき、ウェブサイトを定期的にご確認いただければ幸いです。

### 【理事会報告】

<2024年度第3回理事会>

日時：2024年9月7日(土) 13:00~14:30

リアル会場：追手門学院大学総持寺キャンパス

オンライン会場：会議システム Zoom

出席：藤田、中村、福本、岩田、大串、坂本、澁谷、鈴木、中井、難波、野口、古本、森越、米盛、高橋、橋本、

大島、峯俊

欠席：板垣、鈴木、丹治、千葉、森園

[会長挨拶]

[報告事項]

議事1. 会務報告(各委員会・事務局より)

事務局の古本理事より、今後の作業について報告がありました。

議事2. 次回研究会について(確認)

研究事業委員会の中井理事より第2回研究会について説明がありました。次回研究会は2024年11月16日(土) 15:00-17:00(予定)に、「観光業におけるキャリアパスの形成と専門日本語/英語教育」(仮)をテーマとして、明海大学浦安キャンパス(講義棟1階2101教室)で開催されます。併せて、暫定プログラム案が提示されました。本理事会後、プログラムを研究事業委員会で検討したうえで、再度提示することが鈴木理事より伝えられました。

[審議事項]

議事1. 2024年度全国大会について

岩田理事、大串理事、米盛理事、森越理事、大島幹事、峯俊幹事を全国大会実行委員とすることが承認されました。併せて、峯俊幹事を委員長、大島幹事を副委員長とすることも承認されました。

峯俊委員長より全体プログラム案の説明がありました。テーマとして「未来社会を『デザイン』する観光ホスピタリティ教育の展開(仮)」が提示されました。また、3月8日(土)に開催される基調講演・シンポジウムの登壇者が示されました。3月9日(日)開催のワークショップのテーマは研究事業委員会で検討します。

基調講演者への謝金額について、例年は謝金2万円と自宅からの交通費を支払っているものの、今回の予定者に対して同額で良いのか検討が行われました。本学会が営利目的の組織ではないことを踏まえ、鈴木理事が基調講演候補者に対して例年の謝金額で講演を引き受けられるか確認することになりました。

古本理事より、例年シンポジウムの登壇者に対しては交通費込みで1万円を支払っているものの、会場から遠方の場合追加で5千円を支払っていることが伝えられました。

当日手伝いをする院生アルバイト代について確認が行われました。人数、金額については全国大会実行委員会が検討し、総務委員会に提示することになりました。

テーマについて検討がなされ、今後基調講演者の講演内容や、シンポジウムのコーディネーターの意向を踏まえて今後詰めていくことになりました。

国際化推進WGの藤田委員長より、2024年度全国大会での国際化対応について説明がありました。本全国大会でも前回大会と同様に、①英語発表枠の設定、②要旨集の英語による原稿受入れ、③ワークショップの1つをバイリンガルで実施の3点を行います。それに加え、①

日本語発表者のスライドにキーワードの英語訳挿入（任意）を依頼、②プログラムや関連文書を可能な範囲でバイリンガル化を行います。

併せて、①実行委員会とは別の大会国際化推進チームの編成、②発表者人数を絞る工夫、③英語発表の基本線について提案がなされました。なかでも、前回無料とした非会員の英語発表者の参加費について議論がなされました。今回は徴収することを基本として、次回理事会で詳細を決定することになりました。

議事2. 入会審査・報告：事務局

正会員1名の入会が認められました。

#### <2024年度第4回理事会>

日時：2024年11月16日（土）13:00～14:45

リアル会場：明海大学浦安キャンパス

オンライン会場：会議システム Zoom

出席：中村、福本、板垣、大串、澁谷、鈴鹿、鈴木、千葉、中井、難波、野口、古本、森越、高橋、大島、峯俊  
欠席：藤田、岩田、坂本、丹治、米盛、橋本、森園

〔副会長挨拶〕

〔報告事項〕

議事1. 会務報告（各委員会・事務局より）

編集委員会の中村理事より、機関誌の進捗状況について報告がありました。

学会ウェブサイトのリニューアル状況について、野口理事より質問がありました。古本理事より作業を進めていること、今後各委員に確認作業を依頼する旨回答がありました。

議事2. 第2回研究会について

中井理事と鈴鹿理事より、研究会の内容、進め方について説明がありました。併せて、古本理事より、対面参加者17名、オンライン参加者16名が予定されているとの報告がありました。

〔審議事項〕

議事1. 2024年度全国大会について

峯俊理事より全体プログラム案について、3月8日開催の基調講演者、シンポジウムのコーディネーターと登壇者が確定した旨、報告がありました。

大会テーマについて、大会実行委員より示された4案をもとに審議がなされた結果、「大阪・関西万博を契機とした新たな観光ホスピタリティ教育のデザイン」に決まりました。大会1日目に開催される基調講演・シンポジウムをオンライン配信するかについて検討がなされた結果、オンライン配信を行わず、対面でのみ開催することになりました。大会参加費について、正会員・名誉会員を3,000円、1日のみ参加の非会員（一般）を2,000円、2日間参加の非会員（一般）を4,000円、準会員・非会員（大学院生・学部生）を無料、特別会員5名までを無料とする案が提示され、承認されました。ただし、非会員の大学院生・学部生で発表する場合は1,000円を徴収

します。基調講演者、非会員のシンポジウム登壇者、アルバイト学生の謝金額が決定しました。

研究事業委員会の鈴鹿委員長より、3月9日開催ワークショップについて、5つのテーマ案が示されました。検討の結果、5つのテーマで実施すること、各テーマの詳細はそれぞれの担当者により決定されることとなりました。併せて、担当者はワークショップタイトル、概要（100字以内）、座長を11月30日までに鈴鹿理事に伝えることになりました。

編集委員会の中村委員長より、研究報告・教育実践発表の要旨集に関する原稿募集スケジュール、発表会の実施概要について説明がありました。併せて、実施概要について提案がなされ、以下のとおり決定しました。①日本語での発表の場合、第1著者は会員に限定されます。一方で、英語発表の場合は大学院生を含む学生ならば非会員でも第1著者になれます。②英語セッションでの非会員の学部生・大学院生が第1著者となる発表については、指導教員の了解・推薦を取ること、あるいは連名で出すことを求めます。③発表内容は「観光・ホスピタリティ教育についての研究・調査・教育実践」に係るものとし、教育と無関係の発表については受付拒否をできるようにします。④日本語と英語、両言語とも査読を行いません。⑤発表件数を54件までとし、これを超えた場合は要旨の内容を見て判断するなど明記し、会員の発表を優先します。

併せて中村委員長より、全国大会発表募集要項の文書書式について提案され、承認されました。

議事2. 2025年度グループ研究助成募集要項と申請書(様式1)改訂について(新規事業委員会)

新規事業委員会の中村委員長より、2025年度グループ研究助成募集要項について「2. 申請グループの資格・条件」及び「5. 採択グループの義務」の変更点が説明されました。併せて、申請書(様式1)にてグループ研究者全員の押印を求めるようにする旨提案がありました。審議の結果、申請書については従来通り研究代表者を含めて押印を求めないことになりました。募集要項については、理事会後に意見を集約した後に、メール稟議がなされることとなりました。

議事3. 入退会審査・報告：事務局

1名の入会辞退があり、退会扱いとする旨報告がありました。併せて、正会員1名の入会が認められました。

議事4. その他

森越理事より、来年札幌で開催される国際会議についての情報提供があり、参加者を募集中である旨、伝達がありました。併せて、分科会での英語でのモデレーターについての協力依頼がありました。

## 【新規事業委員会】

2025 年度グループ研究助成制度の募集案内を来年 1 月中旬頃より予定しています。募集ご検討のグループは、ご準備の程よろしくお願いたします。

### 【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から 2 年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。

ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

編集・発行人：大島知典（立命館大学）

E-Mail : tom.oshima1017@gmail.com

### 【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

Twitter

<http://x.com/JSTHEducators>

